



第9回 写真コンクール入選作 「噴火で枯れた林」 地質部 松井和典

噴火で枯れた林

昨年の8月24日夜 突然大爆発をおこした三宅島。 当時は 何回となく続いた地震と噴火に島民はすっかりおびえ 小中学生等 2,000 名近くが房総地区に集団避難するなど 私たちの記憶に生々しく残っている。 噴火は「割れ目噴火」といわれるもので 島の北東山腹から海岸にかけておこり約30時間で終わった。 また20余の新噴火口が生まれ 火山噴出物は約 2,000 トンといわれている。 噴火の約 2 月後も 火口からは噴煙があがり 熔岩流もまだ所々赤熱していた。 写真は 火山降下物ですっかり焼けた林と以前噴火した瓢箪山も 真黒な降下物でおおわれ 荒れ果てた三宅島の一角である。

- 技術部地球化学課長 本島公司技官は ECAFE 主催「地球化学探査方式に関するセミナー」に出席のため去る 8 月 3 日～20日バンコックへ出張した
- 鉱床部核原料資源課 林昇一郎技官は米国で放射性鉱物鉱床の研究のため 去る 8 月13日羽田発アメリカ地質調査所(デンバー支所およびワシントン本部)へ留学した。 なお期間は11カ月の予定

検層技術に関する講演会のお知らせ

最近坑井を掘さくした場合 その坑井を利用して 種々の物理測定を行なうことがさかんになって参りました。 そこで 物理探鉱技術協会 日本地下水学会 日本応用地質学会では 地下水技術協会 鑿井協会 日本地質調査業者協会等の後援のもとに 坑井内の物理測定技術 つまり検層

技術の普及を計るため 各種の検層法についての解説講演会を 下記の計画で行なうことに致しました。 多数の方々のご参加をお待ちしております。 物理探鉱技術協会 日本地下水学会 日本応用地質学会 記

- 日時・場所 10 月 26 日 (土) 早稲田 大学
- ① 検層が開発技術として果たす役割 東大 淵田 隆門
 - ② 電気検層とその地下水 温泉開発への利用 地調 陶山 淳治
 - ③ 電気検層の土木 鉱山調査への利用
ダイアコンサルタント 中林 一孝
 - ④ 検層技術とその石油工業への応用 石油資源 佐藤 久敏
 - ⑤ 土木工学における放射能検層 電力技研 大野 博教
 - ⑥ 音波を利用した検層 深田地質研 金子 徹一
 - ⑦ 水井戸の現場における電気検層 地下水技術協会 岡田 静雄

参加を希望される方は 9 月 25 日までに官製はがきに氏名 勤務先を明記の上 川崎市久本町 135 地質調査所内物理探鉱技術協会宛にお申込み下さい。 なお参加費は 500 円 (テキスト代 実費 300 円 参加費 100 円) で 会場へ頂き テキストはその際お渡し致します

地質ニュース	第 109 号	9 月 号
	昭和 38 年 9 月 25 日	発行
編集	吉 富 保 重	工業技術院 地質調査所
発行人	株式会社 実業公報社	東京 都千代田区 九段 4 の 11
発行所	Tel. (331) 7173・9387	振替口座 東京 32466
総発売元	政府刊行物販売所	東京 都千代田区 大手町 1 の 5
	Tel. (211) 5570	
印刷所	共同印刷株式会社	